※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）英語演習	1	2	担当者作成ハンドアウト等

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語演習の授業では、英語コミュニケーションⅠで学習した文法や表現などについて、問題演習などを通じて定着することが目標です。
・自分の意見や考えを簡単な英語で表現できるように、学習に取り組みましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくりはっきりと発話される基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。	・基本的な語句や表現から構成される１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。 ・日常生活で使われる簡単で短い文章の内容を理解することができる。	・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りすることができる。	・前もって準備をした上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。	・例を見ずに自分についての基本的な情報を書くことができる。 ・基本的な語や表現を用いて、身近なことについて箇条書きで複数の文を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	簡単な英語を用いて自分の意見を表現できるように、文法や語彙などの用法を理解している。	日常的なことや、社会的な問題に対する自分の意見や考えを適切な文法や語彙を用いて短い文で表現している。	日常的な事柄について英語で表現するために、わからないことは自分で調べるなどして、積極的に学習を進めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	1.文の種類 2.文型 3.主語と動詞 4.補語と目的語	聞くこと	a: 文の構成を意識して、英語を聞くことができる。 b: 身近なことに関する英語を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近なことに関する英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 身近なことに関する英語を理解するために、基本的な文の構成を理解している。 b: 身近なことに関する文章を読み、概要や要点を捉えている。 c: 身近なことに関する文章を読み、概要や要点を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 身近なことに関して英語で表現するために、必要な文法や語彙を理解している。 b: 身近なことに対して、文の構成を意識しながら話している。 c: 聞き手が理解しやすいように、写真などの視覚資料を用いて話そうとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 身近なことに関して英語で表現するために、必要な文法や語彙を理解している。 b: 身近なことに対して、文の構成を意識して、簡単な英語を書いている。 c: 身近なことに対して、文の構成を意識して、簡単な英語を書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	5.基本時制 6.完了時制 7.態 8.助動詞	聞くこと	a: 時制や態、助動詞の用法を理解して、英語を聞くことができる。 b: 海外の文化についての英語を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 海外の文化についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 海外の文化についての英語を理解するために、時制や態、助動詞などの用法を理解している。 b: 海外の文化についての文章を読み、概要や要点を捉えている。 c: 海外の文化についての文章を読み、概要や要点を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 聞き返したりするなどの、コミュニケーションを円滑にするための言語の働きを理解している。 b: 海外の文化についての感想を簡単な英語を用いて英語で伝え合っている。 c: 聞き手が理解しやすいように、声の大きさや話す速度を工夫してコミュニケーションを進めようとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 自分で調べた海外の文化について英語で表現するために、必要な文法や語彙を理解している。 b: 自分で調べた海外の文化について、自分自身の感想を含んだ簡単な文章を適切な文法や語彙を用いて表現している。 c: 自分で調べた海外の文化について、自分自身の感想を含んだ簡単な文章を適切な文法や語彙を用いて表現しようとしている。	定期考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

後期	9.不定詞 10.分詞 11.動名詞 12.名詞 13.代名詞	聞くこと	a: 不定詞や動名詞などの用法を理解して、英語を聞くことができる。 b: 学校生活についての英語を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 学校生活についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 学校生活についての英語を理解するために、不定詞や動名詞などの用法を理解している。 b: 学校生活についての英語を読み、概要や要点を捉えている。 c: 学校生活についての英語を読み、概要や要点を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 学校生活について紹介するために必要な不定詞や動名詞などの用法を理解している。 b: 自分自身の学校生活について、必要な文法や語彙を用いて発表している。 c: 聞き手に伝わりやすいように、スライドや身振り手振りを用いて発表しようとしている。	授業内での活動
		書くこと	a: 自分自身の学校生活について英語で表現するために必要な文法や語彙を理解している。 b: 自分自身の学校生活について、必要な文法や語彙を用いて表現している。 c: 自分自身の学校生活について、必要な文法や語彙を用いて表現しようとしている。	定期考査
	中間考査			
	14.関係詞 15.冠詞 16.形容詞 17.副詞 18.比較 19.仮定法	聞くこと	a: 関係詞や比較及び仮定法などの用法を理解している。 b: 社会的な問題についての英語を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: 社会的な問題についての英語を聞き、必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内での活動
		読むこと	a: 社会的な問題についての英語を理解するために、関係詞などの用法を理解している。 b: 社会的な問題についての英語を読み、概要や要点を捉えている。 c: 社会的な問題についての英語を読み、概要や要点を捉えようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 社会的な問題に対する自身の考えを英語で表現するために必要な文法や語彙を理解している。 b: 社会的な問題に対する考えを、簡単な英語を用いて伝え合っている。 c: やり取りを円滑にするために、自分に必要なメモを準備したり、聞き手が理解しやすいようにゆっくり話すなどの配慮をしたりしながらコミュニケーションを進めようとしている。	授業内での活動 スピーキング テスト
		書くこと	a: 関係詞や比較及び仮定法などの用法を理解している。 b: 社会的な問題に対する自分の考えや意見について、簡潔にまとまりのある文章を書いている。 c: 社会的な問題に対する自分の考えや意見について、簡潔にまとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度